令和６年度　学校経営計画・自己評価書

足立区立舎人第一小学校
校長 澁谷　あゆみ

１　学校教育目標

・良く考え　くふうする子　　・すなおで　思いやりのある子　　・たくましく　やりぬく子

２　めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	・地域と共に創る学校 ・信頼される学校
○児童・生徒像	・自分も他人も大切にできる学校 ・自律した子ども
○教師像	・一人一人の子どもを理解し、寄り添える教師 ・子どもが主体的に考える授業をつくる教師 ・学び続ける教師

３　学校の現状及び前年度の成果と課題

【学校の現状について】

・地域は学校をいつも温かく見守り支えてくれている。多くの保護者は、学校教育について関心をもち協力的であるが、学校に無関心な家庭との格差が大きく、二極化している。

・前年度、高学年の児童が落ち着いて生活し、舎人第一小学校の手本となることができ、全校児童が落ち着いて生活することができた。

【前年度の成果と課題】

・２年間の人権尊重教育推進校指定を受けたことで、児童の自尊感情や自己肯定感を高めていくことができた。

・図書館重点校に指定されたことから、図書館が読書の場だけでなく、教科学習の調べ学習の場として定着した。

・課題としては、区学力調査の目標通過率が８０％を下回ったことである。どの子にもわかる授業を目指すことと、分からないときに聞きやすい環境を設定することが喫緊の課題である。

４　重点的な取組事項

	内　　容	実施期間（年度）　R:令和				
		R4	R5	R6	R7	R8
1	学力向上アクションプラン	◎	◎	◎	◎	◎
2	豊かな心の育成	◎	◎	◎	◎	◎
3	健やかな身体の育成	○	○	○	○	○
4	幼保小中の連携	○	○	○	○	○

５　令和６年度の重点目標

重点的な取組事項－１	学力向上アクションプラン

Ａ　今年度の成果目標	達成基準 （目標通過率）	実施結果 （通過率結果）	コメント・課題	達成度 ◎○△●
・基礎・基本の定着	・４月の区学力調査目標通過率８０％ ・児童アンケート「授業はわかる」９０％	・４月の区学力調査通過率　７９％ ・児童アンケート「授業はわかる」９１．４％	区学力調査通過率が1%目標値に足らなかったが、前年度より上がったことと「授業はわかる」が目標値を超えよく健闘した。	△

Ｂ　目標実現に向けた取組み

新・継	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 （誰が、何を、どのように）	達成確認 方法	達成目標 （＝数値） （いつ・何を・どの程度）	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
１ 新規	朝学習	全学年	週３回 年間	週３回の朝学習の中で、算数・国語・読書を継続して取り組み、基礎基本の定着を図る。	区学力調査の結果	目標通過率 ８０％	区学力調査の通過率が７９％と 1%届かなかった。	朝読書、国語・算数の取り組みを入れることで朝から落ち着いた学習のスタートができた。	△
新規	学級会	全学年	週１回 年間	学級会で、誰がどんな意見を言っても折り合いをつけていくことを学び、居心地の良い学習環境をつくる。	週案 授業観察	年間 15 回以上の学級会を実施	１５回以上実施	学級会が実現できたことにより、児童が自分の意見を安心して言い合える環境を意識できた。	○
	AI ドリル	全学年	毎日 年間	キュビナを活用した基礎基本の定着	週案 キュビナマネージャー	毎月１人 300 問以上	３００問以上実施	毎週金曜日のお昼に帯として時間を設定したことで実現	◎
新規	Google	全学年	毎日 年間	クロムブックの Google アプリケーションを活用した授業	Google クラスルーム	１日１回以上	デイリーユースは６８％	週の使用率は９６％	○
	学校図書館の活用	全学年	週１回 年間	各教科学習の調べ学習として活用	学校図書館司書の記録	週１回以上	週１回以上実施	読書だけでなく、教科学習として学校図書館が使われるようになった。	◎

重点的な取組事項－２	豊かな心の育成

Ａ　今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
自分も人も大切にする児童の育成	学校評価の児童アンケート「学校は楽しい」と答える児童 90%	学校評価の児童アンケート「学校は楽しい」と答える児童 94.7%	心理的安全性が守られる居心地のよい学校に近づくことができた。	◎

Ｂ 目標実現に向けた取組み

項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
自分とともに他も大切にする児童の育成（いじめ防止）	児童アンケート９０％	・毎月のいじめアンケートの実施 ・５年全員の SC 面談 ・年度末児童アンケート実施	・毎月のいじめアンケートを実施し、解決できている。 ・５年全員の SC 面談実施できた。 ・学校評価の児童アンケート「学校は楽しい」と答える児童 94.7%	いじめに対して、全教職員が同じ課題意識をもって取り組むことができた。	◎
人権尊重教育の推進	ウエブ QU での「学級生活満足群」５０％以上の実施	・ウエブ QU 年２回実施	・ウエブ QU２回実施。 「学級生活満足群」６４％	昨年度までの２年間人権尊重教育に取り組んだ成果で、教職員の人権意識が高い。	○
差別や偏見の防止	ウエブ QU での「承認群」５０％以上の実施	・ウエブ QU 年２回実施	・ウエブ QU での「承認群」５６％	昨年度までの２年間人権尊重教育に取り組んだ成果で、教職員の人権意識が高い。	○
交流活動の推進	異学年交流年間６回	・縦割り班活動 ・異学年との交流活動	・縦割り班活動を年６回実施 ・異学年との交流活動実施	年６回のたけのこ班活動をはじめ運動会やマラソン大会で、高学年が低学年をサポートする姿が随所にあった。	◎

重点的な取組事項－３	健やかな身体の育成

Ａ　今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
基礎体力の定着	運動をすることが好きな児童 80%	運動をすることが好きな児童 94.6%	担任をはじめ、教員が休み時間に児童と共に遊ぶ姿が多くみられた。	◎

Ｂ 目標実現に向けた取組み

項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
体力づくり	マラソン大会で最初の記録から記録を伸ばすことができる児童 ９０％	・マラソン大会の事前指導 ・休み時間の練習の場を設定	マラソン大会で最初の記録から記録を伸ばすことができる児童 ９７％	・大会前１か月間、休み時間に練習の場を設定したことで、児童自身が自分の記録の伸びを実感することができ	◎
健康教育	自分の身体をセルフコントロールできる児童７０％	・養護教諭を中心に SC と連携して児童が自分の心身の健康について認識し、セルフコントロールできるよう指導していく	自分の身体をセルフコントロールできる児童８９％	養護教諭が身体計測時に、排便等の具体的な指導を入れたことで、児童自身が自分の身体について意識し、自分で健康に気を付けるようになってきた。	○
食育	食に関する取り組み	・食育担当と栄養士を中心に食についての年間計画作成 ・給食食材のさやむき体験 ・６年生の給食献立作り ・もりもりウィーク	３年生の「小松菜」５年生の「給食の残菜を減らそう」の総合的な学習の取り組みを行った。	児童自身の食に関しての意識が高まった。	○

６　まとめ

（１）今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

・豊かな心の育成に向けた取り組みは毎年少しずつ成果が出てきており、他者を思いやることのできるやさしい児童が育っている。

・学力向上に向けての取り組みでは、教師主導の教える授業と、児童主体の問題解決学習がバランスよく行われてきている。

・次年度は、区学力調査の通過率が８０％を超えていくように、児童の成果を「見える化」し、児童自身が自信をもちモチベーションが上がるような取り組みをさらに取り入れていく。

（２）保護者や地域へのメッセージ

・いつも本校の学校教育へのご理解とご協力いただき、ありがとうございます。

学校評価で「子どもが毎日楽しそうに学校に行っている」というコメントをたくさんいただき、教職員一同大変うれしく感じております。

これからも、いつもお子様に寄り添える学校でありたいと思います。

（３）その他（学校教育活動全般について）

・これまでは、学級編成（クラス替え）を２年に一度、１・３・５年生の学年初めに行っていましたが、令和７年度以降は、毎年学級編成（クラス替え）を行っていきます。これは、なるべく多くの先生や友達と人間関係を築いていくことができるよう機会を増やしていくことを目的としています。